

第2回 JSRRシンポジウムに参加して

榎 分析センター・技術研究所 土肥 哲哉

本会ならびに佐賀大学海浜台地生物生産研究センター、佐賀大学農学部主催による第2回JSRRシンポジウムが1994年5月21、22日の2日間、唐津市の後援を得て、佐賀県唐津市近代図書館において開催されました。シンポジウムの詳しい内容については、名古屋大学農学部の山内氏ならびに講演要旨集に譲こととします。

今回のシンポジウムに参加した筆者の個人的感想としては、シンポジウム最終時の総合討議において、理想的植物根系を把握する上での問題点として①地上部と地下部のコミュニケーション②根長・根重以外の新たな指標の提案③1次根、2次根等の機能的分類④根系の構造的機能と遺伝・生理的機能の相互関係などが指摘され、根を研究する者にとって誰もが一度は疑問を感じた点であり、本会合でこれらが問題提起されたことは画期的であったと思います。現段階では残念ながらいずれの問題も解決されてはいませんが決して悲観的になる事もないと思っています。今後は作物、林学、園芸、生態、土壌、微生物、農業工学、分析化学など根の研究に関する様々な研究分野において、これらの共通の問題点を認識し、いろいろな側面から幅広く議論を重ねることによって問題点を少しずつ克服出来るものと信じております。

また、今回のシンポジウムが唐津市の協力を得たことは、一般の人々にも根について関心をもって貰う良い機会だったのではないかと思います。

最後に、懇親会では唐津の豪華な海の幸、山の幸をサカナに全国から集まった根の研究者と上下、年齢差など関係無く自由に議論ができた事は筆者にとって有意義な2日間であり、今回のシンポジウムを運営されたスタッフの方々に感謝の意を表します。